事例No.	1142
公表年度	R2
団体の属性	一般市
団体名	島根県大田市

事例区分	一般行政

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・情報公開 ・組織改革

事例種類	森林の集積・集約化

事例内容・タイトル

新たな森林管理システムの円滑な運用と市産木材の活用

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

森林整備

島根県　大田市（新たな森林管理システムの円滑な運用と市産木材の活用）

- 大田市においては、木を伐って、使って、植えて、育てる「循環型林業」の確立を目指している。川上側ではモデル地区における伐採、森林整備等を実践し、その手法・効果を市内全域へ波及させる方針。また川下側では市産材を木造公共建築物等に広く活用する方針。
- 令和元年度においては、以下の取組により森林整備を実施する体制・環境の整備を行った。
  - ・新たな森林管理システムのモデル地区を設定し、森林所有者への意向調査、林業専用道開設支援、森林境界の確認　を実施
  - ・公有林などの整備に利用する林道、林業専用道、森林作業道、土場等の維持補修を行い、間伐等の森林整備、原木生産の増産を推進
  - ・木造公共建築物に市産材を活用するため、市有林から原木を伐採・搬出し、市内製材工場にて構造材等に加工

□　事業内容

1　新たな森林管理システムモデル地区推進事業

- 「新たな森林管理システム」の推進に向け、モデル地区において森林経営を実践するため、①森林境界確認、②林業専用道の開設、③森林所有者への今後の経営に関する意向調査等を実施

【事　業　費】8,628千円（うち譲与税8,628千円）

【実　　績】林業専用道開設227m、作業道補修1,540m、
境界明確化48ha、所有者への意向調査実施面積８ha

2　木造公共建築物への大田市産木材の供給事業

- 市有林2.5ヘクタールから55年生のスギを伐採し、建築材として使える原木を選別し、市内の製材工場にて構造材等に加工

【事　業　費】3,765千円（うち譲与税3,765千円）

【実　　績】 出荷材積1,212㎥、木材はR3に整備する道の駅で使用



（森林の境界明確化に向けた現地確認）



（製材後のヤング係数測定研修）

□　事業スキーム

1　新たな森林管理システムモデル地区推進事業（意向調査等）

市 → 請負 → 森林組合 → 調査確認 → 所有者

2　木造公共建築物への大田市産木材の供給事業（伐採・搬出）

市 → 請負 → 森林組合

□　工夫・留意した点

- １の事業については、新たな森林管理システム制度や林業・木材産業の推進に関する市の方針等を特集した「広報おおだ」を発行し、各戸に配布し周知・徹底を図った。
- ２の事業については、市内の製材工場が連携し、原木段階および製材後のヤング係数を測定し、木材を選別するなど高品質な構造材等の木材製品を供給する体制を整備した。

◇　基礎データ

①令和元年度譲与額	16,851千円
②私有林人工林面積（※１）	8,022ha
③林野率（※２）	77.2%
④人口（※３）	35,166人
⑤林業就業者数（※４）	74人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」
※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」